

～真鶴地区コース～

このコースは、県の天然記念物であるウメボシイソギンチャクとサンゴイソギンチャクが生息する三ツ石、源頼朝のエピソードで有名な鵜窟の他に、真鶴を歩く上で外せないポイントとして潮騒遊歩道、「さば大師」が祭られた日和山など、お林の遊歩道や海岸線をめぐり、真鶴の豊かな海と緑と歴史を余すことなく満喫できるコースとなっております。また、計6カ所の眺望スポットからは素晴らしい景色を堪能できることと思います。このコースを歩き、真鶴の雄大な自然が魅せる新たな眺望スポットを探してみたいはいかがでしょうか。

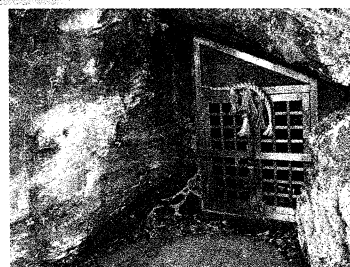
観光ボランティアガイドがすすめる ～真鶴地区の眺望スポット～

- ① 上釈迦堂近辺から眺める真鶴港
- ② 宮の上近辺から見る相模湾と三浦半島
- ③ 高浦近辺から見るサンセット風景
- ④ お林の小鳥の池近辺
- ⑤ 番場浦海岸から見る三ツ石と日の出
- ⑥ 日和山（さば大師）から見る真鶴半島



潮騒遊歩道

初日の出
なぜ三ツ石に
注連はらぬ
坪内逍遙



鵜窟

真鶴地区コース

- JR 真鶴駅
↓
① 荒井城址公園
↓
② 釈迦堂遺跡
↓
③ 尻掛海岸
↓
④ 番場浦遊歩道
↓
⑤ 潮騒遊歩道
↓
⑥ 三ツ石
(遠藤貝類博物館、幕末台場跡、与謝野晶子歌碑)
↓
⑦ 山の神
↓
⑧ 貴船神社
↓
⑨ 鵜窟
↓
⑩ 日和山(さば大師)
↓
JR 真鶴駅

観光ボランティアガイドの ガイドする喜び

「一期一会の気持ち」
お客様がどのような目的をもって真鶴を訪れるのか、事前に把握することを徹底して努めております。「満足してもらうには一期一会の気持ち大切にしなければならぬ」という思いや、「人の喜ぶことが自分にとってうれしいこと」という思いが自身の根底にあります。

「湧き出すエネルギー」
観光ボランティアガイドの活動は、私自身の内面から湧き出している活動であり、何のために、何の目的でということを前提とするものではなく、自然に湧いてくるエネルギーのようなものです。お客様を案内すること自体が喜びであり、その喜びをお客様と共有することに喜びを感じています。明日お客様を案内するという前の晩はワクワクして眠れない時があります。



「ガイドのひと工夫」
石碑や歴史だけではなく、真鶴の文化財それぞれにまつわる話、昔話や『はだか稲荷』『うじまの河童』『ボンボンザメ』をはじめとした民話、伝承などを交えてお話しをし、案内をするように心掛けております。文化財として指定を受けているわけではありませんが、目には見えない真鶴の貴重な財産として守り、継承し後世へ残していきたいと思っています。

文化財ウォーキングマップ

～真鶴町観光ボランティアガイドの

おすすめスポットをめぐる路～

文化財だより 特別号 平成26年 3月発行 真鶴町教育委員会

文化財だより
特別号の発行にあたって

真鶴は半島のお林や岩海岸など、豊かな自然や景勝地が多く、多くの方々がハイキングやウォーキングを楽しんでいます。
豊かな自然と同等、もしくはそれ以上に真鶴が誇る財産として、文化財が挙げられます。今号の文化財だよりは特別号として、真鶴の文化財に触れ、より一層親しんでいただけるよう『文化財ウォーキングマップ』を作成いたしました。自分たちの住んでいる町の歴史や先人の想いに触れ、郷土に対する愛情を持って、次の世代に継承していただきたいという願いから、真鶴地区と岩地区の二つのコースを提案いたします。
また、今回の文化財だより作成にあたり、真鶴町観光ボランティアガイドの皆さまに多大なご協力を賜りましたこと、紙面をお借りいたしました深く御礼申し上げます。

おすすめのベストスポット
～真鶴地区～

【日和山】
港に出入りする船頭さんや船主が朝早くこの山に登り、その日の天候を判断し、漁に出るかどうか決めたと伝えられています。ここには、地蔵尊が祭られており、豊漁を祈り、帰港するとご飯や魚を奉納したと言われていました。また、魚介類の供養塔があり、毎年四月、八月や魚まつりに漁業関係者が感謝祭を行っています。

【潮騒遊歩道】
浜エンドウ、テリハノイバラ、トベラ、車輪梅、ラセイタ草、ねこの舌など、季節毎に海岸特有の植物を見ることが出来ます。特にハマダイコンとハマゴウの群生が見事です。また、海蝕台のように見える場所がありますが、これは江戸城築城のための石を切りました際にできたものと考えられています。

【鵜窟】
源頼朝が石橋山の戦いに敗れ、辿りつき隠れた窟だと伝えられています。窟は昔、船でなければ行けない場所であり、中も現在より広く、地震で隆起したため現在の形になったと考えられています。名称の由来は、平氏の追手が窟をのぞくと「シトド」といわれる鳥が飛びだしたのを見て、中に人がいないものとして立ち去った、と伝えられたことが起源とされています。頼朝はこの地で多くの村人に助けられ、「青木」「五味」「御守」の姓を与えて、その労に報いたと言われています。

【三ツ石】
真鶴半島唯一の景勝地であり、約十五万年前に噴出した巨大な溶岩によってつくられたと考えられています。周辺の磯には県の天然記念物に指定されているウメボシイソギンチャクとサンゴイソギンチャクが生息しています。また、注連縄が張られています。これは坪内逍遙の句にちなんで昭和五十二年につけられたものです。

おすすめのベストスポット ～岩地区～

【如来寺跡】

如来寺は明治末期に焼失してしまいましたが、洞窟の中に閻魔大王と十王像、大日如来像と聖観世音菩薩形坐像が安置されており、石仏の作者但唱の地獄と極楽の世界が表現されています。溶岩の破片や火山弾などが積み重なって出来た火砕丘の様子が見られ、ジオサイトの一つとしても観察を楽しむことができます。

【兒子神社】

岩地区の氏神であり集落の中心を見守る位置にあります。神社の北側に元禄時代の手水鉢があり、当時の神仏混交の様子を知ることができます。手水鉢は、左が三つ巴と右が卍の模様で、中央は法輪が彫ってあります。



如来寺跡洞窟及び石仏群

【真鶴町民俗資料館】

明治時代に石材業にて実績を残し、当時の衆議院議員にも当選した真鶴の名家土屋氏の旧邸宅であります。土屋氏が実際に使用されていた昔の生活用具や石材業、漁業関係の資料などが展示されています。明治・大正時代に建てられた古民家のため非常に落ち着いた雰囲気があり、町内外を問わずお客様からの好評を得ている施設です。

【岩海岸(頼朝 船出の浜)】

石橋山の戦いに敗れた源頼朝とそのお供達が、この海岸から安房を目指し船出したと伝えられています。海岸近くに『謡曲七騎落ち』を題材にした塩谷温氏の漢文の碑があります。また、切り立った崖壁や弁天島からは岩溶岩の特色がみられ、ジオサイトとしても楽しむことができるスポットとなっております。注目を集めています。



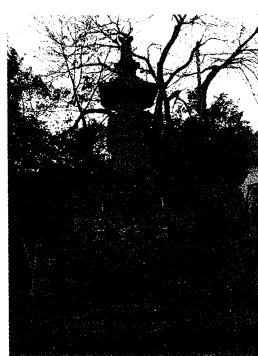
岩海岸

【道祖神】

真鶴にある道祖神は僧侶型で、外から襲いくる疫病や悪霊などが町に入ってくるのを防ぎ、町を守る役割をもった子どもの神様として古くより信仰されています。真鶴町全体で十一ヶ所があり、現在も人々の暮らしを見守っています。

【瀧門寺】

茅葺き屋根の本堂が特徴的で、初めは真言宗の寺院として千三百年程前に開山され、現在は曹洞宗の寺院となっております。寺の後方にはかつて水量豊かな滝があったと思われる痕跡があります。参道には五層塔と頌徳碑、宝篋印塔などがあり、岩地区の石工の技術の高さが偲ばれ、石の町真鶴の歴史に触れることができます。

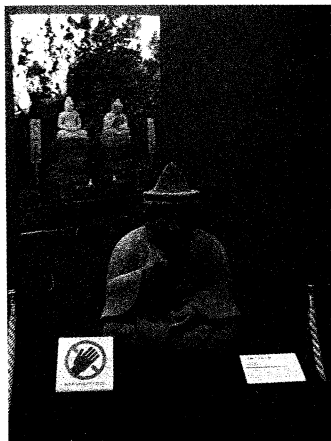


宝篋印塔

文化財審議委員会

品川歴史館視察報告

平成二十五年十一月十三日、品川歴史館にて如来寺跡洞窟及び石仏群の作者但唱の企画展を視察して参りました。また、真鶴町の聖観世音菩薩形坐像を貸し出し、期間中展示いただき、また、他地域の石仏と比較し柔和で穏やかな表情が特徴的で、お客様からの評判もよく、好評を博していたと職員の方が仰っておりました。まだ見たことのない方はぜひ一度、如来寺跡の洞窟へ足を運んでみてはいかがでしょうか。



聖観世音菩薩形坐像

～岩地区コース～

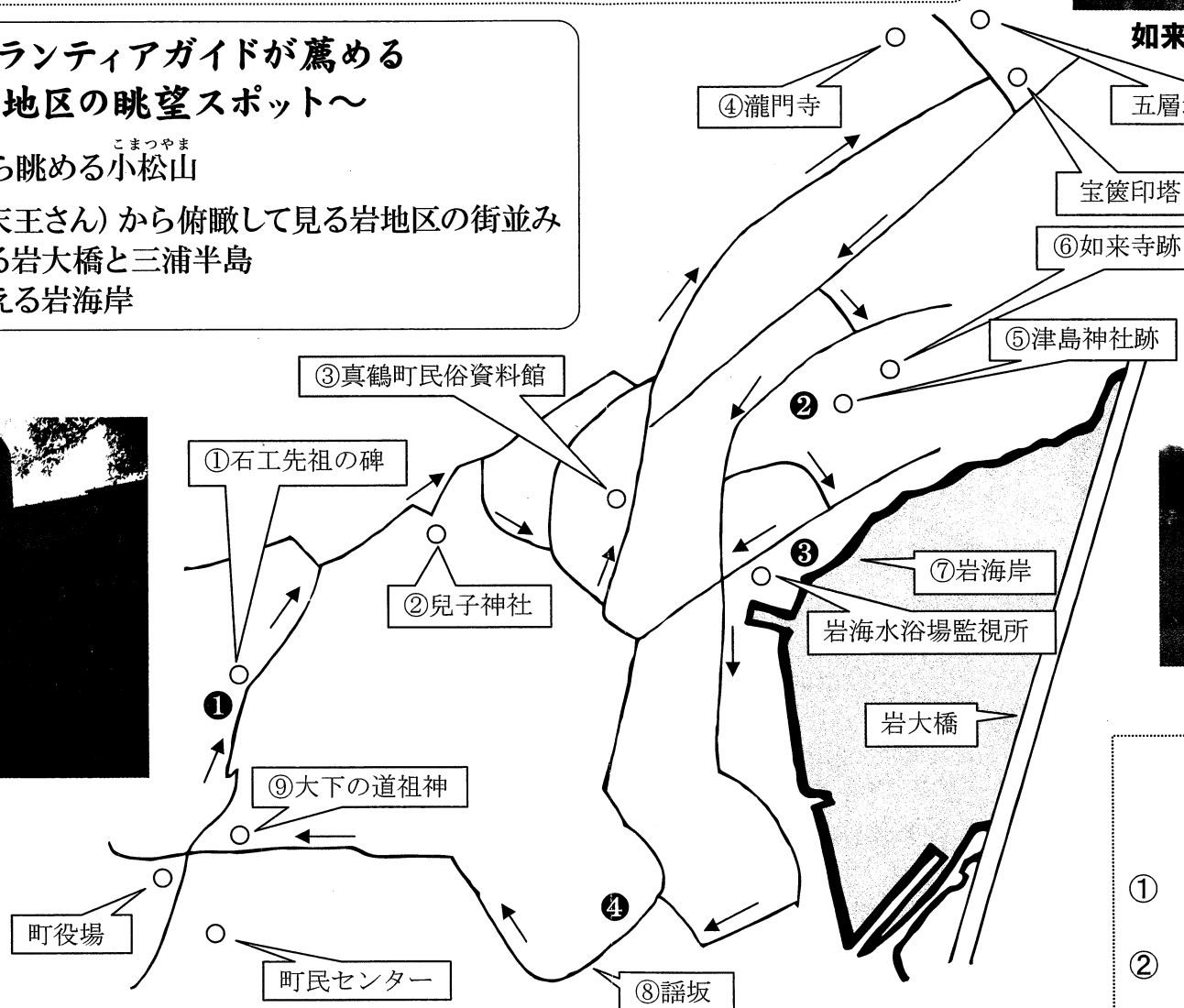
町民の文化活動の拠点である町民センターを起点とし、先人の残した石碑や史跡を辿り、真鶴の歴史と文化を探訪するコースとなっております。宝篋印塔や五層塔と頌徳碑などはもちろんのこと、瀧門寺の境内や民家の石垣、石段など、小松石が使用されています。石材業が盛んだった岩地区らしい街並みや謡坂・頼朝船出の浜は、人の営みと歴史の深みを感じられることと思います。

観光ボランティアガイドが薦める ～岩地区の眺望スポット～

- ① 石工先祖の碑から眺める小松山
- ② 津島神社跡(お天王さん)から俯瞰して見る岩地区の街並み
- ③ 岩海岸から見える岩大橋と三浦半島
- ④ 謡坂付近から見える岩海岸



石工先祖の碑



岩地区コース

- 真鶴町民センター
- ① 石工先祖の碑
 - ② 兒子神社
 - ③ 真鶴町民俗資料館
 - ④ 瀧門寺 (宝篋印塔、五層塔と頌徳碑)
 - ⑤ 津島神社跡(お天王さん)
 - ⑥ 如来寺跡
 - ⑦ 岩海岸
 - ⑧ 謡坂
 - ⑨ 大下の道祖神
- 真鶴町民センター

観光ボランティアガイドの ガイドする喜び

「心に残る思い出を」
お客様一人ひとりの「こころ」に「楽しい思い出」として何時までも残るようなガイドをしたいと想います。ガイドとしての責任を果たし、別れの手を振っていただくお客様の笑顔を見ながらお見送りできることが最高の喜びだと感じています。

「ジオサイト」
箱根ジオサイト四十一カ所の内六ヶ所が真鶴町に存在しております。真鶴溶岩、本小松溶岩、岩溶岩、白礫溶岩が形成されたことによる石材業の発展や石造物について詳しくお話ししております。この説明をお客様に聞いてもらい、喜んでいただいた時に我々も喜びを感じております。

「ガイドの心得」
紹介内容に誤りがないように案内の前には必ず再勉強します。お客様の性別、年齢、住所をふまえ、希望を伺い、お客様にあったガイドを心がけます。知識がある方が多いので町や住んでいる人のエピソードを話すことが多いです。最後に「ガイドさんに案内してもらって良かった」と言ってもらえることが最大の喜びです。「何度も真鶴に来てくれるけどガイドしてもらって真鶴のことがよく解った」と言ってもらえるよう努力しております。

